

F-a-3 省エネルギー・CO₂排出量削減への取り組み

環境

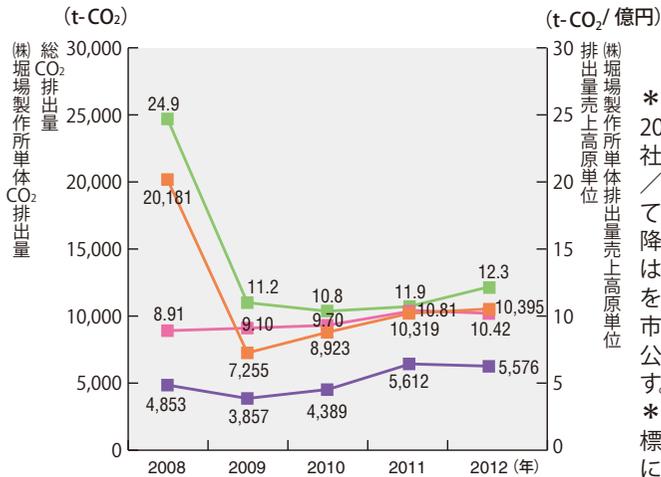
2012年国内HORIBAグループの総CO₂排出量は2011年に比べ0.7%増の10,395t、総CO₂排出量売上高原単位は2011年比3.8%増の結果となりました。

また(株)堀場製作所単体のCO₂排出量は2011年に比べ0.6%減の5,576t、CO₂排出量売上高原単位は2011年比3.7%減の結果でした。

増加要因は年度途中でグループ会社で建屋増床部分が本格稼動したことによるものですが、節電・省エネ対策を継続実施し、増加を最小限に止めました。

総CO₂排出量推移

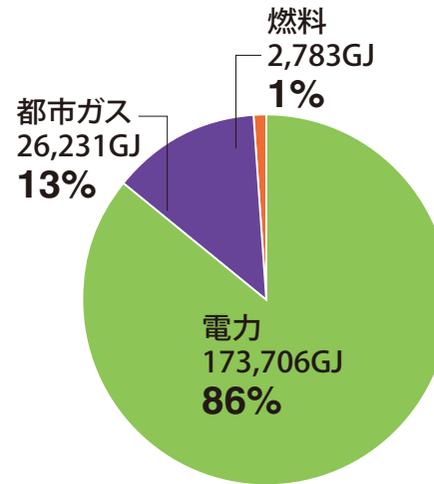
- 排出量売上高原単位 (t-CO₂/億円)
- 総CO₂排出量 (t-CO₂/年)
- (株)堀場製作所単体排出量売上高原単位 (t-CO₂/億円)
- (株)堀場製作所単体CO₂排出量 (t-CO₂/年)



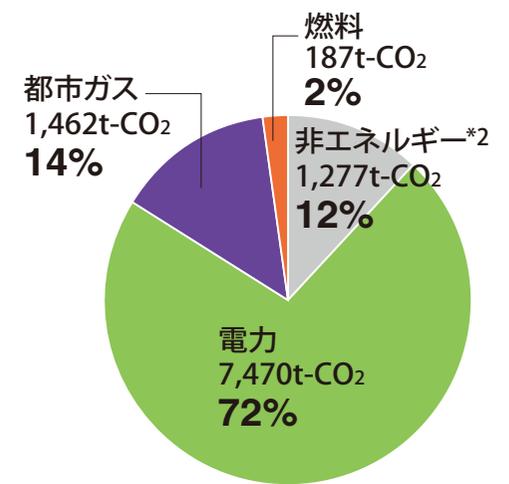
***1 CO₂排出係数:**
2000年度「全国電力会社の平均値0.378kgCO₂/kWhを基本に算出していますが、2005年以降の京都地区については関西電力(株)の公表値を採用しています。都市ガスは大阪ガス(株)の公表値を適用しています。

***2 都市ガス使用量:**
標準状態(0℃、1気圧)に換算。

2012年 エネルギー使用 種別別比率 (対象：国内生産拠点*1)



2012年 温暖化ガス(CO₂換算) 排出量種別比率 (対象：国内生産拠点*1)



*1 国内生産拠点には、(株)堀場製作所 本社工場・びわこ工場、(株)堀場エステック 本社工場・阿蘇工場、(株)堀場アドバンスドテクノ 本社工場を含みます。
*2 非エネルギー：六フッ化硫黄、パーフルオロメタンなど。